

<国語>

国語では、グラフをもとに分析をすると正答率が全国・神奈川県（公立）平均よりも下回っている。特に「書くこと」に関する内容が、全国・神奈川県（公立）よりも下回っていることから下記の2点が今後の学習のポイントである。

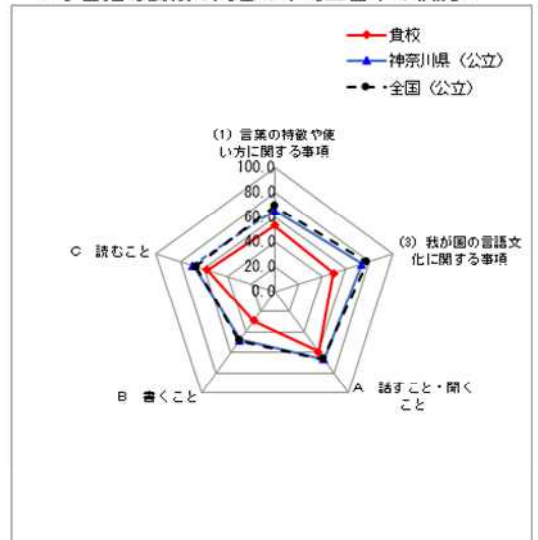
- ① 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができること
- ② 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができること

<算数>

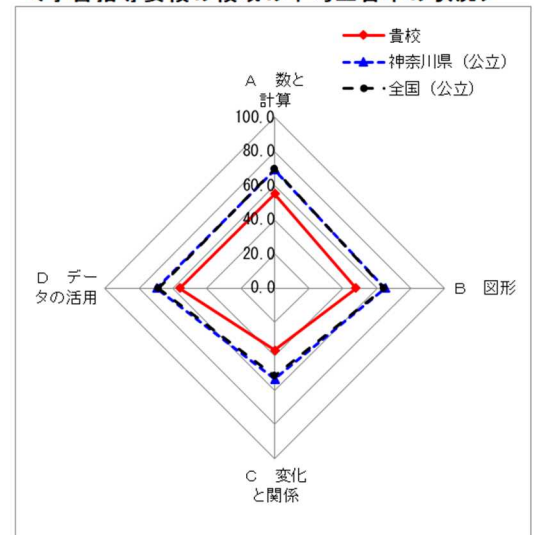
算数では、グラフをもとに分析をすると正答率が全国・神奈川県（公立）平均よりも下回っているものの、全体的にバランス良く正答することができている。しかし、「変化と関係」に関する内容が、他の領域よりも下回っていることから、下記の2点が今後の学習のポイントである。

- ① 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができるようになること
- ② 伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述することができるようになること

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## <理科>

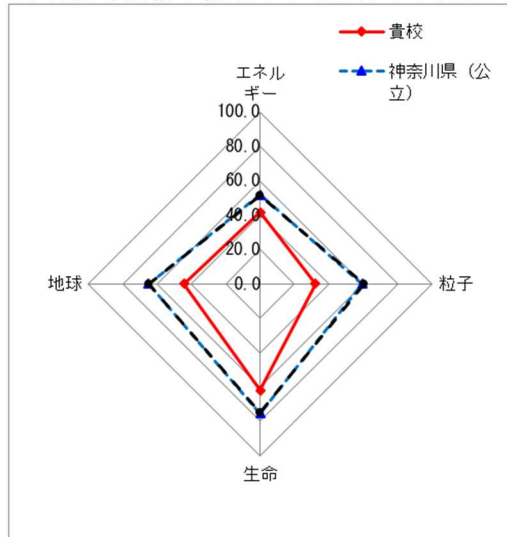
理科では、グラフをもとに分析をすると正答率が  
全国・神奈川県（公立）平均よりも下回っている。

「粒子」実験器具の取り扱い方等に関する内容が、  
全国・神奈川県（公立）よりも大幅に下回っている

ことから、下記の2点が今後の学習のポイントである。

- ① 実験器具の取り扱い方を理解することができるようになること
- ② 他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるようになること

## <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## <児童質問紙> (全国平均から下回っている主な項目)

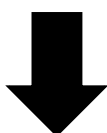
- ・自分には良いところがある
- ・難しいことにも失敗を恐れなくて挑戦する
- ・自分と違う意見について考えるのが楽しい
- ・家で自分で計画を立てて学習する
- ・学校が休みのときの1日当たりの学習時間
- ・学習したことを生かしながら、自分の考えをまとめたり新しいものを作り出したりする

→今後の学校生活に生かしていくためには

今年度、新しいことに挑戦する機会の充実を図ってきたことを続け、

自己有用感を高める活動、他者との違いを受け止める学習、充実した話し合い活動を行うことを大切にしてい

<



じゅうてんけんきゅうもくひょう  
**重点研究目標**

ともだち かんが き じぶん かんが わ つた ちから いくせい  
**「友達の考えを聞き、自分の考えを分かりやすく伝える力の育成」**

にせまる 教育活動の 実践 ・ 授業改善の 取組を 今後も 継続します。

- ・ 講師による講演会での研修会（年2回）
- ・ 校内での授業研究会・実践提案による研究会（年6回）を計画しています。